

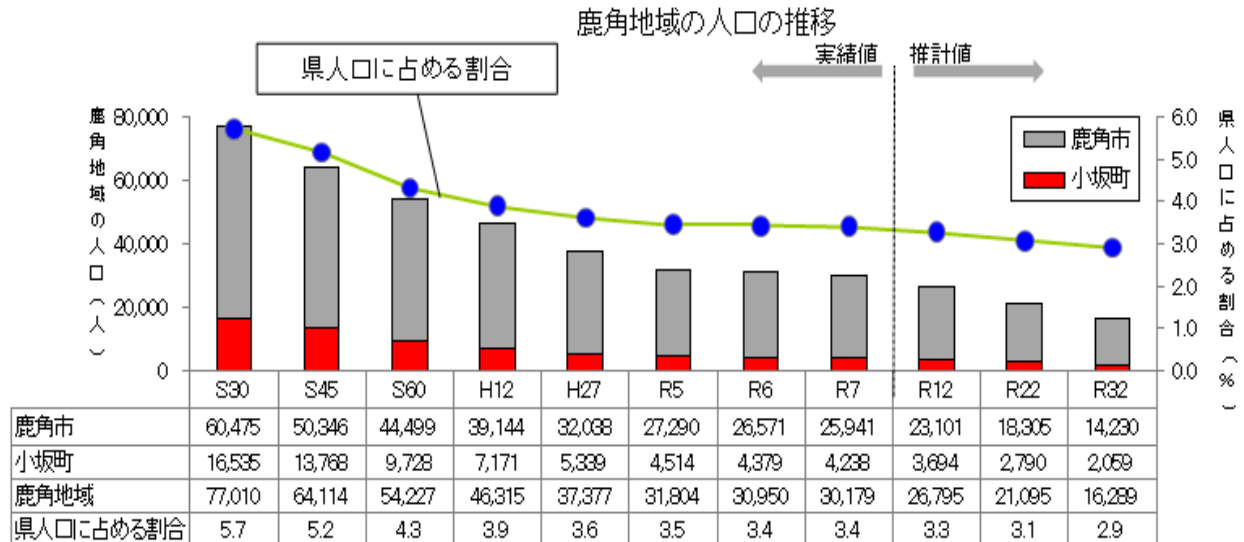
I 鹿角地域のすがた

- 鹿角地域振興局管内は、鹿角市及び小坂町の一市一町からなり、北東北三県のほぼ中央、秋田県北東部に位置し、十和田湖、八幡平からなる「十和田八幡平国立公園」を有する自然環境に恵まれた地域である。
- 面積は 909.22 km²（鹿角市：707.52 km²、小坂町：201.70 km²）であり、秋田県の総面積（11,637.49 km²）に占める割合は約 7.8%となっている。
- 交通は、南北に東北自動車道が走り、「鹿角八幡平」「十和田」「小坂」の3つのインターチェンジがあり、青森市、盛岡市とも、1時間程で結ばれている。
- 平成25年11月、日本海沿岸東北自動車道の大館北インターチェンジから小坂ジャンクションまでの約16キロが開通し、県都秋田市との時間・距離が短縮したものの、一部未整備区間が残存しており、早期の高速道路の全線開通が期待されている。



2 人口

- 令和7年4月1日現在、管内の人口（推計値）は、30,179人（鹿角市：25,941人、小坂町：4,238人）である。昭和30年の77,010人をピークに減少を続けている。
- 国立社会保障・人口問題研究所の推計によれば、当管内における令和32年の将来推計人口は16,289人であり、県人口全体に占める管内人口の割合は、2.9%となる。

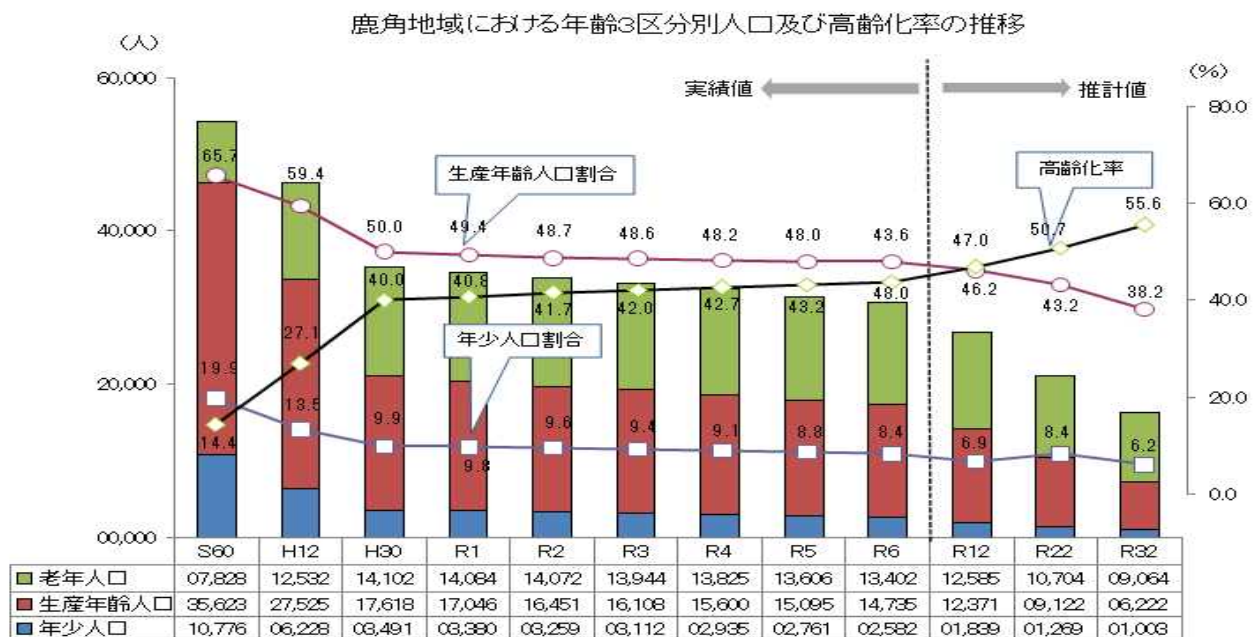


資料) S30～H27: 総務省「国勢調査」

R5～R7: 県調査統計課「秋田県の人口と世帯【月報】」

R12～R32: 国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口(令和5年推計)」

- 年齢3区分別人口の推移では、年少人口割合及び生産年齢人口割合が低下する一方、高齢化率は上昇を続け、人口減少と少子高齢化の進行が続くものと推測されている。



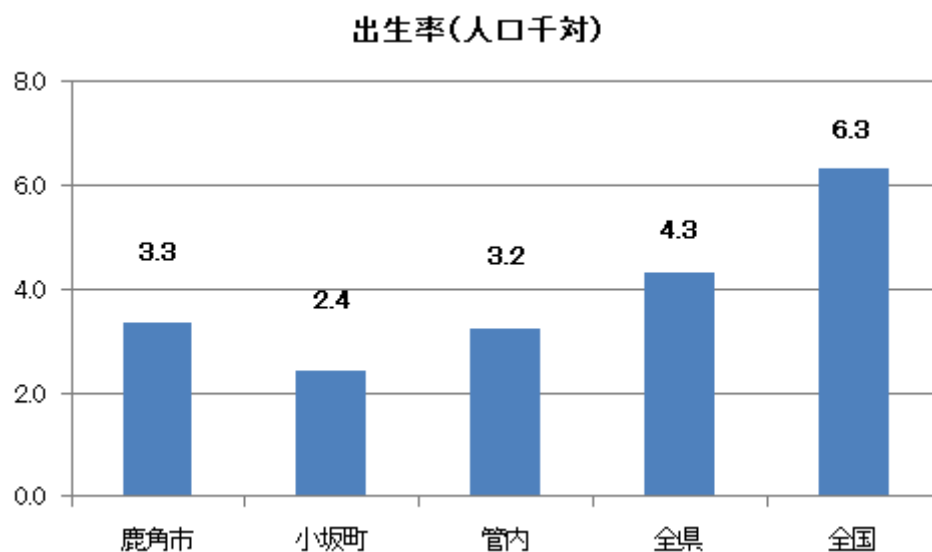
(資料) S60～H12: 総務省「国勢調査」

H30～R6: 県調査統計課「R6 秋田県の人口(秋田県年齢別人口流動調査報告書)」

R12～R32: 国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口(令和5年推計)」

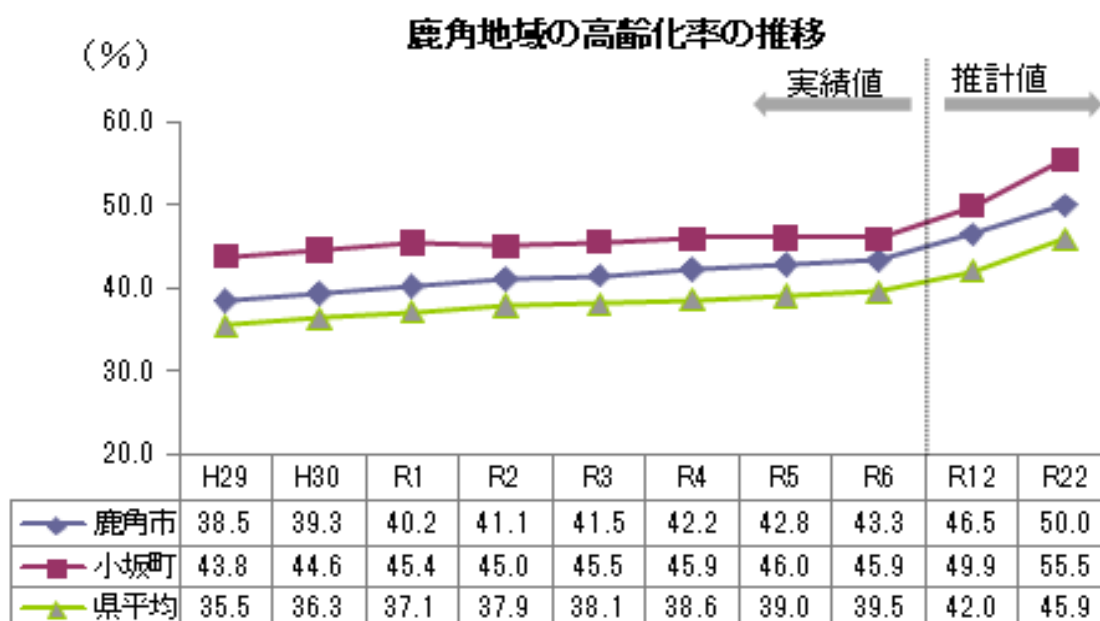
(年齢不詳を除く。県及び鹿角管内の総人口と一致しないことがある)

- 鹿角地域における出生率（人口千人当たりの出生数、令和4年）は3.2であり、全県（4.3）を1.1ポイント下回っている。



資料)県健康福祉部「令和4年秋田県衛生統計年鑑」

- 令和6年(10月1日現在)における管内市町の高齢化率をみると、小坂町が45.9%で全県10位、鹿角市が43.3%で同13位となっている。
- 県内9町の比較では、
小坂町は7位(1位:藤里町51.4%、2位:五城目町50.6%、3位:八峰町50.3%)、
県内13市の比較では、
鹿角市は5位(1位:男鹿市50.5%、2位:北秋田市47.1%、3位:仙北市45.8%、
4位:湯沢市43.7%)に、それぞれ位置している。
- 両市町とも、県平均を上回り、高齢化が進行している。

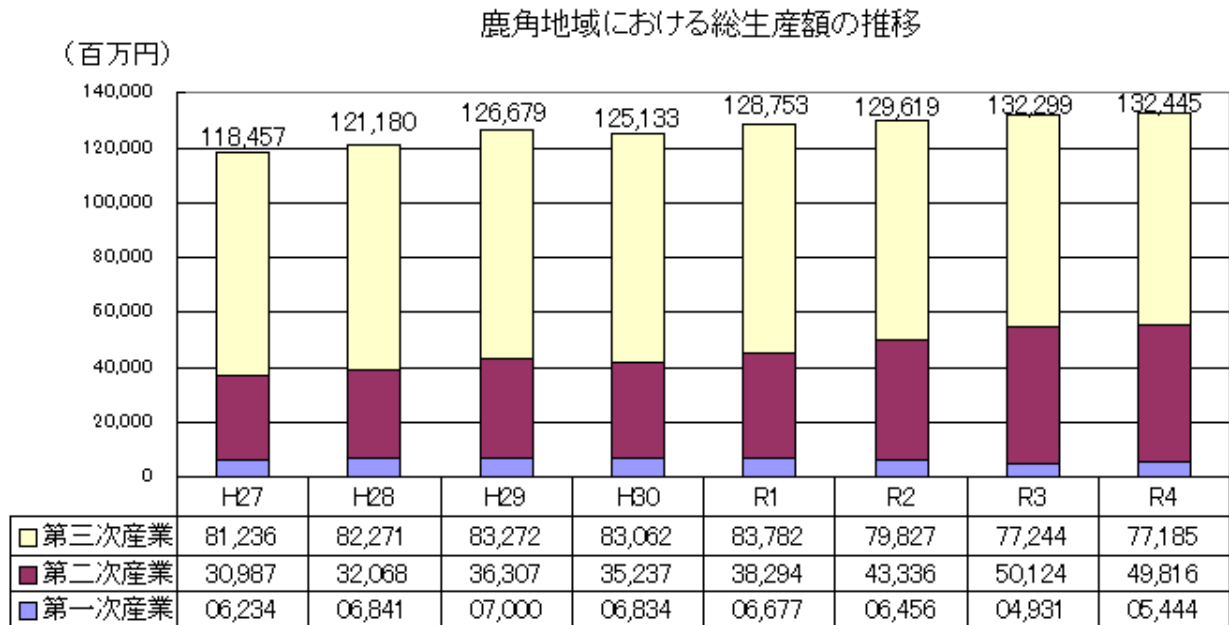


資料) H28～R6:調査統計課「令和6年秋田県の人口」

R12～R32:国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口(令和5年推計)」

3 経済・産業

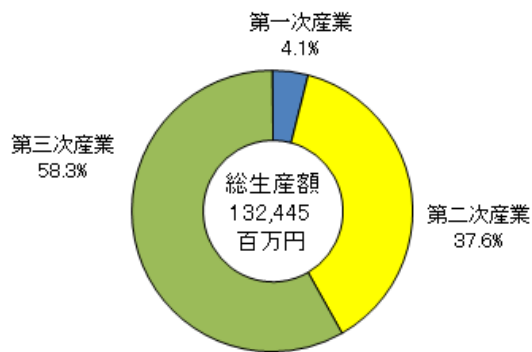
- 令和4年度における鹿角管内の総生産額は、約1,324億円となっており、県内総生産（36,474億円）の約3.6%を占めている。
- 管内の産業別総生産額では、第一次産業及び第二次産業の占める割合が全県平均に比して高くなっており、就業者の割合でも同様となっている。



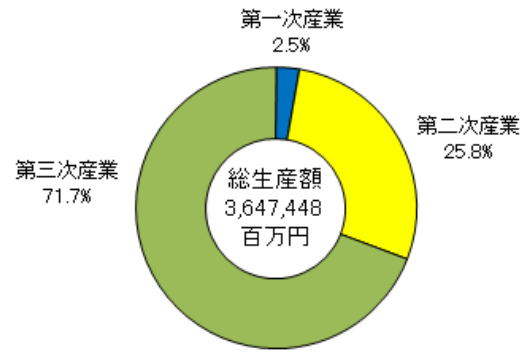
資料) 県調査統計課「令和4年度秋田県市町村民経済計算年報」

※第一次～第三次産業の値は、輸入品に課される税・関税等の控除前のもの。そのため、これらの計は市町村内総生産の値と一致しない。

産業別総生産額の割合(鹿角)(R4年度)



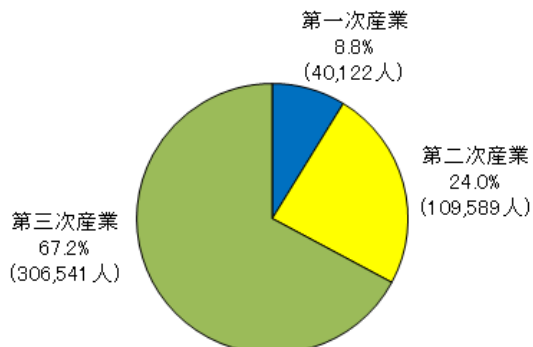
産業別総生産額の割合(全県)(R4年度)



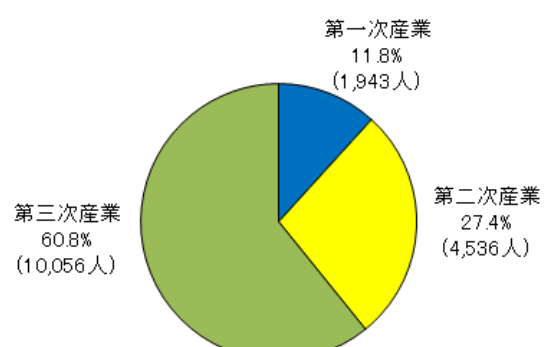
資料) 県調査統計課「令和4年度秋田県市町村民経済計算年報」

※第一次～第三次産業の値は、輸入品に課される税・関税等の控除前のもの。そのため、これらの計は市町村内総生産の値と一致しない。

全県における産業別就業者割合



産業別就業者割合(鹿角)



資料) 総務省「令和2年国勢調査」

(1) 第一次産業（農林水産業）

- 令和4年度の第一次産業県内総生産に占める鹿角管内の割合は5.7%である。
- 鹿角地域は、平坦地でも標高が120mほどあり、8月の平均気温も18～23度と冷涼である。その地理的特性を活かし、「かづの北限の桃」やリンゴ等の果樹、キュウリやトマト等の畑作物、さらに、「桃豚」「八幡平ポーク」に代表される養豚を中心とした畜産部門も盛んであることが特色となっている。

地域別 第一次産業生産額の構成比(R4年度)



【管内別総生産】

鹿角	：	5,444
北秋田	：	11,732
山本	：	9,339
秋田	：	17,355
由利	：	9,927
仙北	：	18,821
平鹿	：	15,296
雄勝	：	8,327
計	：	96,241

(単位:百万円)

資料)県調査「令和4年度秋田県市町村民経済計算年報」

(2) 第二次産業（鉱業・建設業・製造業）

- 令和4年度の第二次産業県内総生産に占める鹿角管内の割合は4.8%である。

地域別 第二次産業生産額の構成比(R4年度)



【管内別総生産】

鹿角	：	49,816
北秋田	：	124,362
山本	：	48,832
秋田	：	273,211
由利	：	250,596
仙北	：	115,491
平鹿	：	91,236
雄勝	：	77,969
計	：	1,031,513

(単位:百万円)

資料)県調査「令和4年度秋田県市町村民経済計算年報」

(3) 第三次産業（電気・ガス・水道業、卸売・小売業、金融・保険業、不動産業、運輸・通信業、サービス業等）

- 令和4年度の第三次産業県内総生産に占める鹿角管内の割合は3.1%である。

地域別 第三次産業生産額の構成比(R4年度)



【管内別総生産】

鹿角	77,185
北秋田	255,025
山本	183,117
秋田	1,193,444
由利	209,531
仙北	271,222
平鹿	210,794
雄勝	119,376

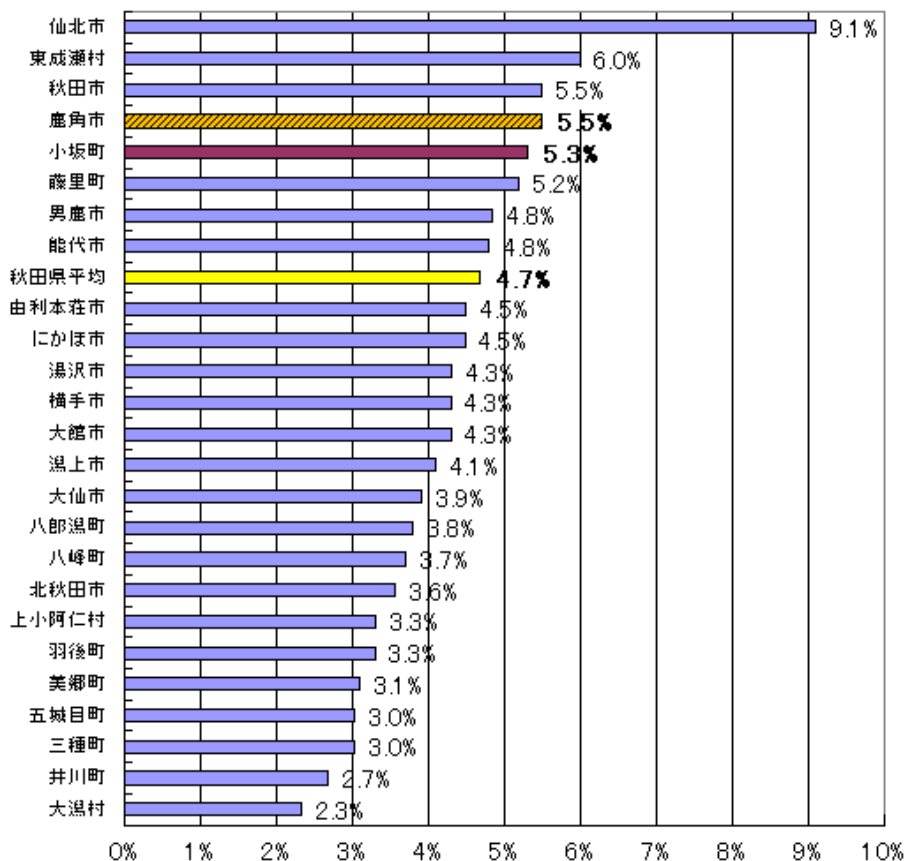
計：2,519,694

(単位:百万円)

資料)県調査「令和4年度秋田県市町村民経済計算年報」

- 令和2年国勢調査において、市町村ごとの就業人口に占める「飲食、宿泊業」従事者の割合をみると、鹿角市が5.9%、小坂町が5.3%、となっており、全県平均の4.7%を上回っている（25市町村中、鹿角市・小坂町が上から4番目と5番目に位置している）。

県内市町村別の就業人口に占める「飲食、宿泊業」者の割合



資料)総務省「令和2年国勢調査」

4 農業

○ 管内農業の主要指標

ア 農家戸数・認定農業者数

(単位：戸、人、%)

区 分	鹿 角 市	小 坂 町	管 内 計	秋 田 県	対全県比
総農家数	1,649	148	1,797(100%)	37,116(100%)	4.8
販売農家数	1,136	87	1,223(68%)	27,780(75%)	4.4
自給の農家数	513	61	574(32%)	9,336(25%)	6.1
認定農業者数 (市町認定分)	171	22	197	8,259	2.4
認定農業者数 (振興局認定分)	4				

「2020年農林業センサス」

・認定農業者数は、県集計による（令和6年3月末時点）

イ 耕地面積

(単位：ha、%)

区 分	鹿 角 市	小 坂 町	管 内 計	秋 田 県	対全県比
耕 地 面 積	6,100	841	6,941	146,400	4.7
田	3,500	469	3,969	128,400	3.1
畑	2,600	372	2,972	17,900	16.6
田 率	57.3	55.8	57.2	87.7	—
1戸あたり面積	3.70	5.68	3.86	3.94	—

「第70次東北農林水産統計年報(令和4、5年)」

・1戸あたり面積＝耕地面積／総農家数

ウ 農業産出額

(単位：億円)

区 分	管 内		秋 田 県		対全県比	
年	R3	R4	R3	R4	R3	R4
算出額	122.0 (100%)	129.6 (100%)	1,648.9 (100%)	1,670.0 (100%)	7.4%	7.8%
米	21.5 (17.6%)	20.8	876.3 (53.1%)	852.0 (51.0%)	2.5%	2.4%
畜 産	71.9 (58.9%)	79.9	347.2 (21.1%)	378.0 (22.6%)	20.7%	21.1%
野 菜	13.7 (11.2%)	13.9	285.0 (17.3%)	295.0 (17.7%)	4.8%	4.7%
果 実	11.3 (9.3%)	12.8	74.6 (4.5%)	85.0 (5.1%)	15.1%	15.1%
花 き	1.1 (0.9%)	1.2	12.9 (0.8%)	25.0 (1.5%)	8.5%	4.8%
その他	2.5 (2.1%)	1.0	52.9 (3.2%)	35.0 (2.1%)	4.7%	2.9%

「市町村別農業産出額（推計）

（農林業センサス結果等を活用した市町村別農業産出額の推計結果）」

エ 主要野菜の販売作付面積の推移（管内）

（単位：ha）

年	きゅうり	トマト	ね ぎ	アスパラガス	えだまめ
H28	11.7	6.2	4.6	8.6	51.0
H29	11.5	6.0	4.6	10.0	50.0
H30	11.6	5.5	4.0	7.6	51.9
R 1	10.4	5.5	4.0	8.0	51.0
R 2	10.6	4.5	8.6	7.0	38.0
R 3	10.4	4.4	16.8	6.5	34.0
R 4	9.3	4.1	16.7	4.8	47.7
R 5	9.3	3.9	15.7	5.5	35.2
R 6	9.3	3.8	18.1	5.0	33.7

J Aかづの営農経済部調べ

オ 家畜飼養頭数の推移

（単位：戸、頭）

区 分	乳 用 牛				肉 用 牛												豚					
	戸数	頭 数			戸数	繁殖牛頭数					肥育牛頭数							戸数	頭 数			
		計	経産	育成		計	黒毛	短角	褐毛	F 1	計	黒毛	短角	褐毛	乳用	F 1	計		繁殖豚	育成豚	肥育豚	
鹿角市	7	317	210	107	44	671	496	157	1	17	587	201	162	-	-	224	6	58,509	5,358	454	52,697	
小坂町	-	-	-	-	10	75	57	4	15	-	20	14	1	5	-	-	4	57,782	5,093	303	52,536	
R 5計	7	317	210	107	54	746	553	161	15	17	607	215	163	5	-	224	10	116,291	10,451	757	105,083	
R 4 計	7	371	252	119	57	756	567	168	14	7	646	211	197	5	1	232	10	109,445	10,873	771	97,801	

「家畜改良関係頭羽数調査」（令和6年2月1日現在 速報値）

※ 乳牛の育成にヌレ子等を含む、豚に種雄豚は含まない、肥育牛に去勢子牛を含む。

カ 水田整備率（令和5年度完了分まで）

（単位：ha、％）

区 分	水田面積	整備済み面積		内 訳			
		(30a区画以上)		50a区画以上		1ha区画以上	
		面積	整備率	面積	整備率	面積	整備率
鹿角市	3,440	2,336.6	67.9	231.2	6.7	59.0	1.7
小坂町	470	397.6	84.6	65.8	14.0	14.6	3.1
管内計	3,910	2,734.2	69.9	297.0	7.6	73.6	1.9
全 県	128,100	93,051.5	72.6	32,446.8	25.3	22,393.8	17.5

「農地整備課 市町村別ほ場整備実施状況」

○ 管内林業の概要

- ・ 管内総土地面積の79.3%にあたる72,067haが森林で、そのうち国有林は65%、民有林は35%である。民有林の人工林のほとんどがスギである。
- ・ 管内民有林の人工林率は63%で、県平均の58%を上回っている。人工林の齢級構成は3齢級以下（1～15年生以下）が2%、4～10齢級（16～50年生）が47%、11齢級以上（51年生以上）が51%となっている。

○ 管内林業の主要指標

ア 森林面積

（単位：ha、%）

区 分	合 計	民 有 林	国 有 林
鹿角管内	72,067(100)	25,124(35)	46,942(65)
秋 田 県	839,602(100)	448,080(53)	391,522(47)

「秋田県林業統計（令和5年度版）」

イ 民有人工林の齢級別面積

（単位：ha、%）

区 分	合 計	3齢級以下	4～10齢級	11齢級以上
鹿角管内	15,627(100)	290(2)	7,434(47)	7,903(51)
秋 田 県	256,535(100)	4,010(2)	94,635(37)	157,890(61)

「秋田県林業統計（令和5年度版）」

ウ 林家戸数

（単位：戸、%）

区 分	総 数	保 有 規 模		
		1.0～ 5.0ha	5.0～10.0ha	10.0ha以上
鹿角管内	1,798(100)	1,564(87)	143(8)	91(5)
秋 田 県	27,697(100)	21,412(77)	3,444(13)	2,841(10)

「秋田県林業統計（令和5年度版）」

エ 林内道路現況

区 分	現 況 林 道		林道現況密度 (m/ha)	林内道路密度 (m/ha)
	路線数	延長(km)		
鹿角管内	58	126	5.2	14.0
秋 田 県	1,081	2,540	5.8	17.7

「秋田県林業統計（令和5年度版）」

オ 特用林産物の生産量

(単位：kg、俵)

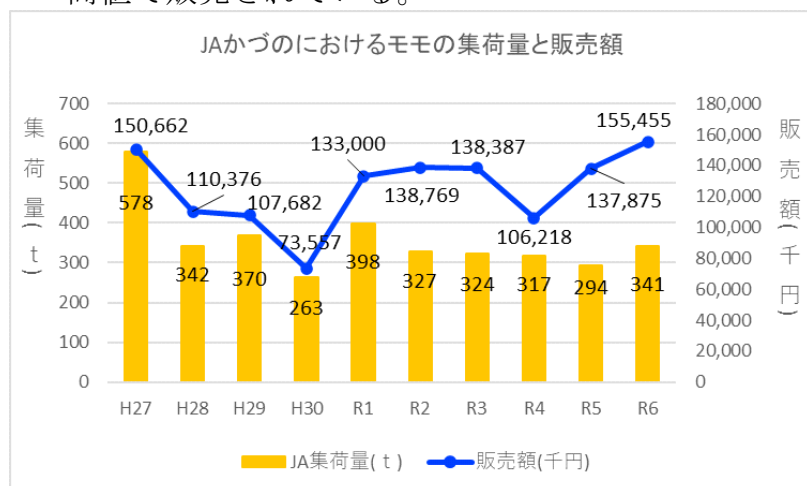
区 分	乾 しいたけ	生しいたけ		なめこ	ねまが りたけ	木炭(15kg俵)	
		原木	菌床			白炭	黒炭
鹿角管内	—	—	11,128	—	2,526	—	—
秋 田 県	2,539	90,465	4,050,739	283,003	6,951	3	151

「秋田県林業統計（令和5年度版）」

○ 鹿角地域の主なブランド農畜産物

(1) かつの北限の桃

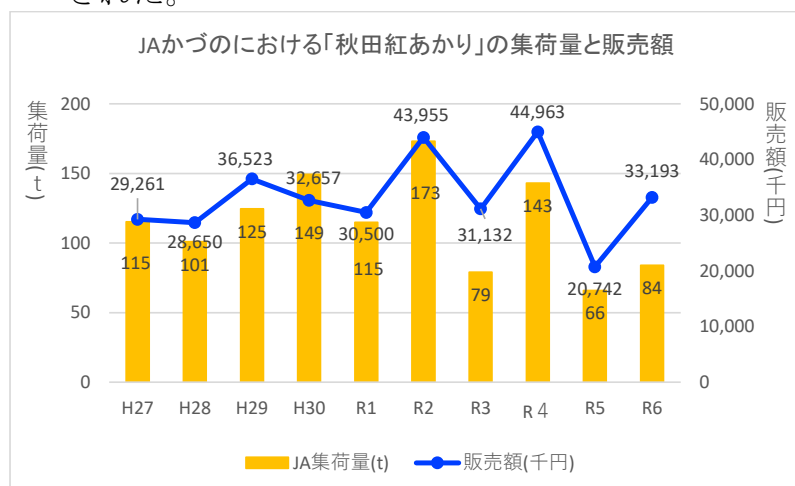
- ・ 鹿角地域の冷涼な気候を活かし、主力品種である「川中島白桃」は、9月上旬から中旬と全国でも最も遅い時期の出荷となっており、糖度の高さからも市場における評価が高い。
- ・ 令和6年度は8月～9月にかけて少雨で経過したことから、糖度が非常に高く、品質は良好であった。9月中旬以降に収穫の晩生種も品質、食味ともに良好であった。年々「北限の桃」の知名度が上がってきていることから、高値で販売されている。



県育成オリジナル品種「秋田紅あかり」

(2) 秋田紅あかり

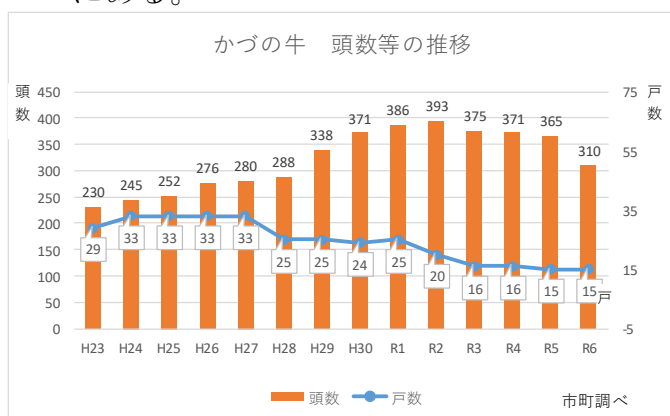
- ・ 鮮やかな紅色の外観と甘さが特徴の県育成オリジナル品種「秋田紅あかり」は、冷涼な気候での栽培が向いていることから、鹿角地域が県を代表する産地となっている。
- ・ 令和6年は、6月中旬の降雹、8月の高温・少雨による日焼け果の発生が見られたものの、果実肥大は良好であったことから、前年よりもやや増収となった。品質は糖度は高かったものの、硬度、酸度はやや低めで、日焼け果由来の炭疽病、輪紋病の罹病により、商品価値が大きく低下した果実が散見された。



ブランド化が進む「かつの北限の桃」

(3) かづの牛

- 日本短角種である「かづの牛」は、黒毛和種に比べ脂身が少ない赤身肉であり、消費者の健康志向などから、その価値が高く評価され注目を集めている。
- また、地域ならではの自然的、人文的、社会的な要因の中で育まれてきた品質、社会的評価等が認められ、令和7年1月30日付けで地理的表示に登録された。
- 鹿角市が「かづの牛」の振興を図るため、平成25年度から草地畜産基盤整備事業（公共事業）により進めた公共放牧場の草地整備・牛舎等の施設整備、県畜産農業協同組合の積極的な増頭や関係機関による消費拡大の取組の結果、平成以降、黒毛和種への品種切替や高齢化による廃業等で230頭まで減少が続いていた頭数が令和2年には393頭まで増加した。
しかし、その後は担い手の高齢化等により飼養戸数・頭数ともに減少傾向にある。

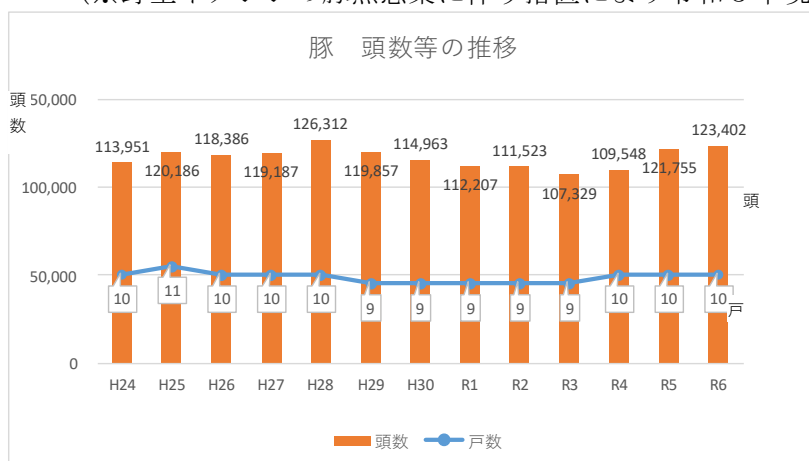


「かづの牛」の放牧風景

(4) 八幡平ポーク・桃豚

- 鹿角地域では企業経営による養豚が盛んで、管内の飼養頭数は約12万頭と県内頭数の約4割を占めている。特に、(農)八幡平養豚組合の「八幡平ポーク」、ポークランドグループの「桃豚」は、いずれも有名ブランドとなっており、両グループでは加工や輸出※にも取り組むほか、独自の直売店舗を設けるなど販売力の強化に積極的に取り組んでいる。

(※野生イノシシの豚熱感染に伴う措置により令和5年現在輸出は停止)



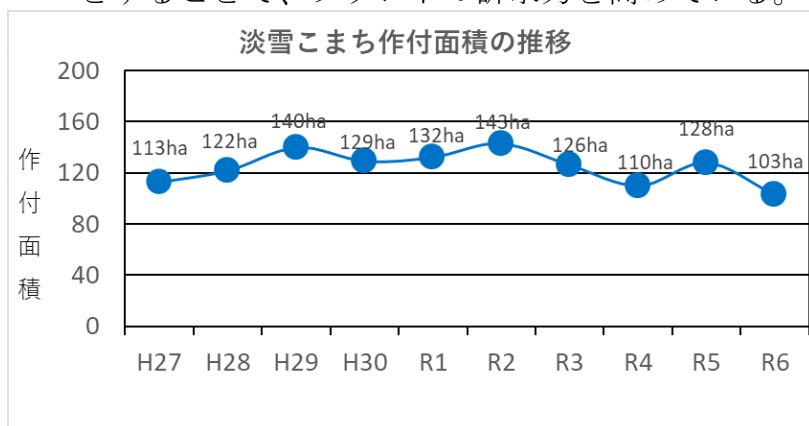
桃豚



八幡平ポーク

(5) 淡雪こまち

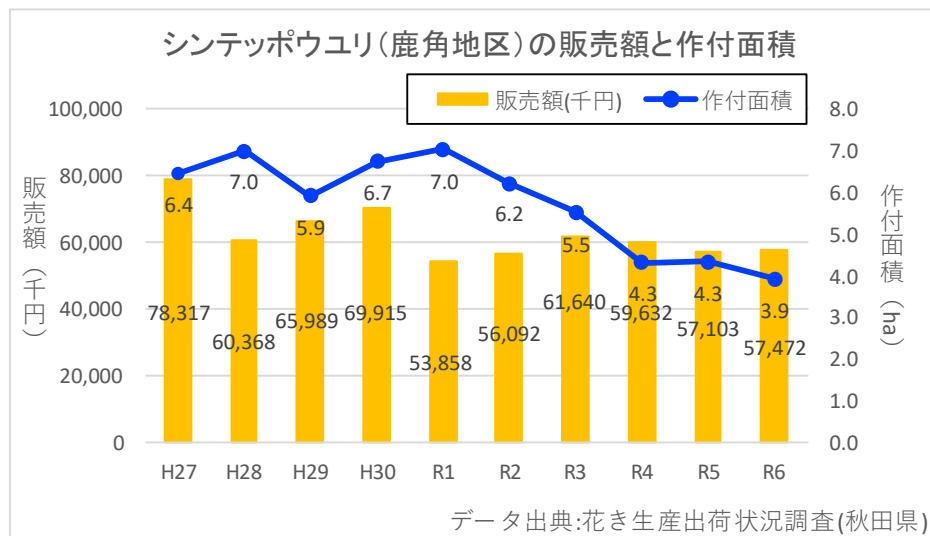
- ・ 鹿角地域のブランド米として作付けされている「淡雪こまち」は、鹿角地域の冷涼な気候により「低アミロース米」の特徴である「もちもち」、「ふっくら」とした食感が味わえると消費者や米卸業者等から高い評価を得ている。
- ・ 直播栽培により低コスト生産と出穂期の調整を図り、更に特別栽培を基本とすることで、ブランドの訴求力を高めている。



鹿角地域ブランド米
「淡雪こまち」

(6) シンテッポウユリ

- ・ 鹿角地域の気候に適した品種であり、現在、生産者は17戸で県内一の生産量となっており、「かづののユリ」として市場から高い評価を得ている。
- ・ 種を播いてから1年で花を咲かせるユリで、1年目は秋彼岸頃に収穫期を迎え、その後は球根をそのままほ場で越冬させる。2年目にはお盆頃に収穫となる。
- ・ R2年には秋田県オリジナル品種の無花粉シンテッポウユリ「あきた清ひめ」が市場デビューした。



「シンテッポウユリ」

(7) 松館しぼり大根

- ・ 鹿角市八幡平松館集落に古くから栽培されている大根で、その「しぼり汁」は独特の風味と極めて強い辛味があるため、薬味やつけ汁等おろし専用の大根として利用され、地域を代表する特産物の一つとなっている。
- ・ 百年以上の歴史があり、鹿角地域においても栽培しているのは松館地区だけで、他の地区に作付けしても「しぼり大根」独特の辛さがでないと言われている。
- ・ 収穫は10月下旬～11月中旬で、普通の大根より短く、短円筒形で身がしっかりしている。
- ・ 品質バラツキの解消のため、県農業試験場がF1品種「あきたおにしぼり」を育成、高品質で安定した供給が可能になった。
- ・ 平成30年4月9日、地域の特性を生かした農産物を保護する農林水産省の「地理的表示(GI)保護制度」に鹿角市で初めて登録された。

生産戸数及び栽培面積の推移

区分	生産戸数 (戸)	栽培面積 (ha)	販売額 (千円)
H27	12	3.0	3,000
H30	6	2.0	2,000
R 1	5	1.8	1,800
R 2	5	1.7	1,074
R 3	4	0.95	947
R 4	4	0.95	1,139
R 5	4	0.95	800
R 6	4	1.4	1,000

J A かつの調べ



鹿角の伝統野菜 松館しぼり大根

※ 地理的表示(GI)保護制度

品質、社会的評価その他の確立した特性が産地と結び付いている産品について、その名称と産品を知的財産として保護する制度。

登録される産品には、品質や社会的評価などの「産品の特性」と、生産地の気候や風土、土壌などの「自然的な特性」や、伝統的な製法・文化などの「人的な特性」が結びついていることが求められる。

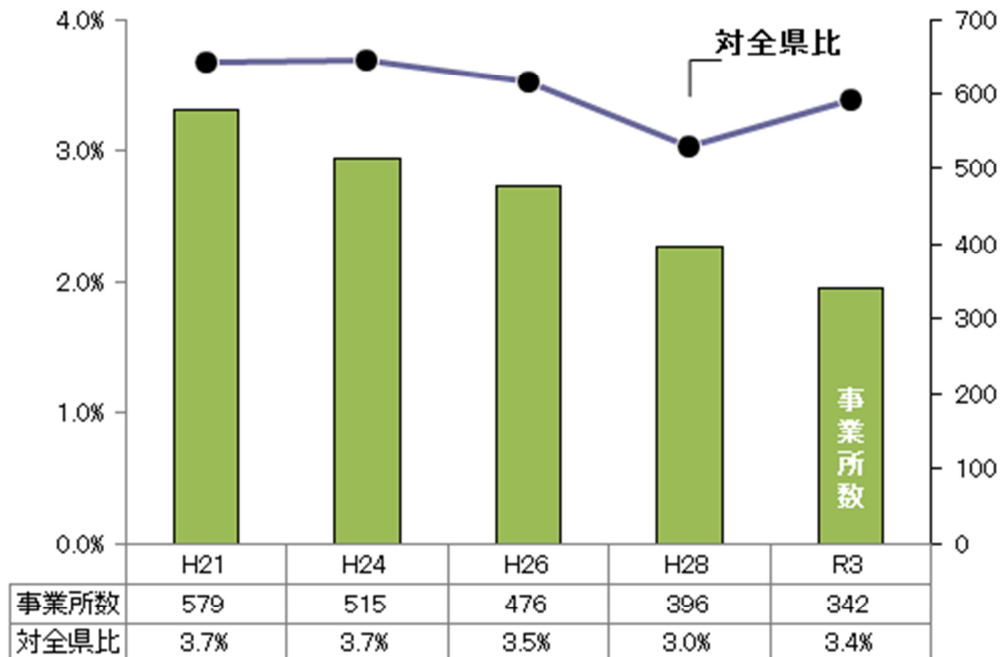
5 商業

○ 鹿角地域の卸売・小売業の状況

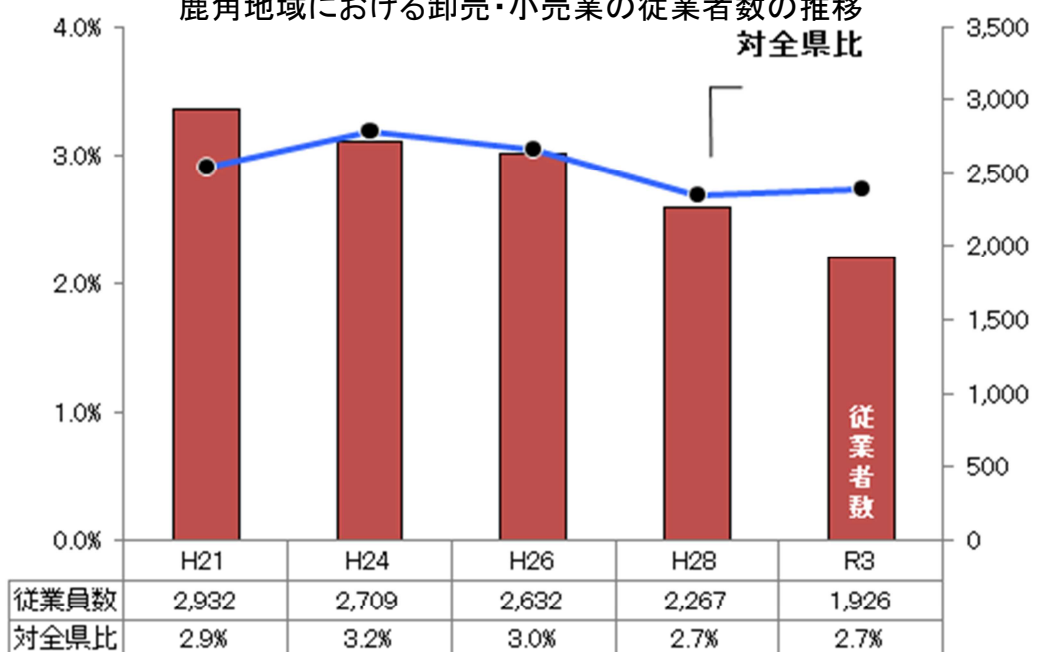
管内の卸売・小売業の事業所数及び従業員数は減少傾向にある。

総務省「経済センサス」によると平成 21 年には事業所数が 579 箇所、従業者数は 2,932 人だったが、令和 3 年にはそれぞれ 342 箇所、1,926 人に減少している。

鹿角地域における卸売・小売業の事業所数の推移



鹿角地域における卸売・小売業の従業者数の推移
対全県比



資料) 総務省「経済センサス」

※各年の調査対象事業所の相違等のため、単純比較はできない。

6 工業

○ 工業立地の動向

- ・ 鹿角地域には、「鹿角工業団地」「鹿角市産業団地」（鹿角市）及び「三ツ森工業団地」（小坂町）の3つの工業団地を中心に、令和6年3月末現在、16社（17事業所）の県誘致企業が操業している。
- ・ 平成25年11月には、日本海沿岸東北自動車道の大館北インターチェンジ～小坂ジャンクション間が開通し、特に小坂町への交通アクセスが大きく向上した。

鹿角地域における県誘致企業一覧（令和6年3月末現在）（サービス業等を除く）

	誘致年度	所在地	企 業 名	業 種（主要製品）
1	昭和42年度	鹿角市	昭和第一産業(株) 尾去沢工場	衣服（ユニフォーム、雨衣）
2	昭和45年度	〃	山口電機工業(株) 秋田工場	輸送用機械（自動車電装部品）
	平成28年度	〃	山口電機工業(株) 秋田第二工場	輸送用機械（自動車用イグニッションパーツ）
3	昭和46年度	〃	十和田精密工業(株) 秋田工場	金属製品（ＡＴＭ、券売機等の板金加工）
4	昭和60年度	〃	鹿角コネクタ(株)	電気機械（通信機器用高周波同軸コネクタ）
5	〃	小坂町	(株)エドウィン小坂ジーンズ →H29.9 秋田ホーセ（株）小坂工場に吸収合併後、R3.8.31 工場閉鎖	衣服（ジーンズ、シャツ）
6	昭和61年度	〃	東邦工業(株) 秋田工場	プラスチック（プラスチック成形品）
7	昭和62年度	鹿角市	新化食品(株) 花輪工場	食料品・飲料等（フルーツ加工品）
8	〃	小坂町	(株)カミテ	金属製品（ラジオ全面パネル、バックモニターブラケット）
9	昭和63年度	鹿角市	アイデックス(株)	電気機械（コネクタ）
10	〃	小坂町	秋田リサイクル・アンド・ファインパック(株) →R4.4 小坂製錬（株）へ統合	非鉄金属リサイクル（リサイクル原料の前処理）
11	平成元年度	鹿角市	(株)佐藤ダンボール 鹿角工場 →R1.7 (株)北原紙器製作所秋田工場が事業承継	パルプ・紙（段ボール製品製造販売、包装資材）
12	平成3年度	小坂町	(株)日本ピージーエム 小坂工場	非鉄金属リサイクル（白金族金属回収）
13	平成16年度	鹿角市	(株)シーティーイー 鹿角事業所 →R3.3 事業停止	情報処理等（ＤＴＰ制作）
14	平成19年度	小坂町	オートリサイクル秋田(株)	非鉄金属リサイクル（鉄スクラップ・非鉄製錬原料他）
15	〃	〃	エコシステムリサイクリング(株) 北日本工場	非鉄金属リサイクル（貴金属回収、製錬原料）
16	平成22年度	鹿角市	(株)十和田ソーラー →H29.10 十和田オーディオ(株)に事業譲渡	電気機械（太陽光モジュール、太陽光発電システム）

資料）工業振興の概要

鹿角地域の工業団地一覧（令和6年3月末現在）

	鹿角工業団地	鹿角市産業団地	三ツ森工業団地
造成主体	秋田県	鹿角市	小坂町
団地面積	21.8 ㍒	2.4 ㍒	3.0 ㍒
分譲済面積	14.8 ㍒	2.3 ㍒	2.9 ㍒
未分譲面積	3.5 ㍒	0 ㍒	0 ㍒
立地企業数	4	2	5

資料）工業振興の概要